

第73回日本学校農業クラブ全国大会令和4年度北陸大会

10月25日(火)～27日(木)、第73回日本学校農業クラブ全国大会和4年度北陸大会が行われました。本校では、農業鑑定競技会に食品システム科3年鈴木依緒里さんと米原瑞葵さん、緑地デザイン科3年大西香菜美さんと竹中隼人くんの4名の生徒が出場するため福井県に向かいました。また、代議員会の出席および大会式典で旗手として参加するために、鳥取県学校農業クラブ連盟の代表として鳥取県連会長の緑地デザイン科3年の下山希くんが石川県へ向かいました。

主な日程は以下の通りです。

10月25日(火)、初日は農業鑑定チームと代議員参加チームがそろってJR鳥取駅を出発しました。途中から乗り換えし、目的地の福井県と石川県にそれぞれ向かい、明日の本番のために宿舎に宿泊をしました。

10月26日(水)、代議員会と式典リハーサルに参加しました。代議員会では、指導教員は見守りに徹し、代議員である生徒が会議の進行と運営を行います。下山くんは鳥取県連代表として議案に対する質問を行いました。全都道府県連の中で質問をしたのは2校だけで、貴重な経験ができました。代議員会の後、大会式典のリハーサルを行いました。初めは緊張してぎこちなかった各校の生徒達も、指導を受け回数を重ねるごとに凛とした表情に変化し、最後は堂々と県連旗を持ち入場練習を行っていたのが印象的でした。

【代議員会会場にて】

【農業クラブ全国大会のお弁当は今年も素敵でした】



【代議員会にて下山くんの質問】

【承認は挙手で行いました】



同日10月26日(水)、農業鑑定競技会に鈴木さんは分野食品、米原さんと大西さんは分野園芸、竹中くんは分野造園の競技に出場しました。競技会では、慣れない会場や独特の雰囲気と緊張感の中、自分の力を発揮することの難しさを知りました。翌日朝6時半に大会ホームページにて結果が掲載されて、竹中隼人くんが分野造園で優秀賞を獲得しました。全国大会ではプロジェクト発表会や平板測量競技会など様々な競技が行われていますが、全競技の中鳥取県で唯一入賞することができ、誇らしかったです。また、竹中くんは2年連続の入賞となり、非常に価値ある結果となりました。昨年度と比べて問題の難易度は高くなったようですが、日頃の積み重ねが良い結果に結びついたのでと思います。

【大会マスコットキャラクターのマイマイくんと】

【農業鑑定競技お疲れ様でした】



最終日10月27日(木)は、代議員会と農業鑑定競技会の会場に分かれていた生徒と教員が全員集結し、大会式典に参加しました。今年度の式典は、式典会場は人数制限があり、全競技の中で単位クラブの代表1名と入賞者しか入場できなかったため、生徒3名と引率教員1名はYouTube配信にて騎手入場を見届けてくれました。また、学校でも農業ICT基礎を専攻している生徒も大会ホームページで見てくれていたようです。今大会では農業クラブ副会長の竹中くんが入賞できたため、会長下山くんの騎手を式典会場で見届けることができました。下山くんは旗の重みと責任を感じながら県連会長として立派に役目を果たすことができました。新型コロナウイルスの感染防止のためいくつかの会場に分かれライブビューイング視聴で行われましたが、同じ式典会場で全国の農業高校の生徒・職員・関係者が集結した迫力と臨場感を体感させてあげられなかったのが残念でした。来年度は新型コロナウイルス感染症も落ち着き、同じ会場で大会式典に出られるようになってほしいと思います。

【県連代表として立派に責任を果たしました】



【鳥取県学校農業クラブ連盟旗。オシドリと二十世紀梨のデザインがおしゃれです】



大変ハードなスケジュールでしたが、生徒はたくさんの人と出会い交流を深め、全国大会の競技会に出場することで、良い経験になったようです。この大会をきっかけに、生徒は一回りたくましくなったように思います。教員としてもあらためて農業クラブの活動の意義や今後の農業教育のありかたを考えさせられるきっかけとなり、大きな収穫になったと思います。